

THIS IS A 7TH DRAGON / MOMOMEND ONLY FANBOOK.

HEAVEN'S DRAGON

Presented by GAMIRAIZU / KIKYAKUDOU.

FOR ADULT ONLY



THE USA 7TH DRAGON / MOMOHENO DILLIANCE BOOK

II HEAVEN'S DRAGON

Presented by GAMIRAIZU / KIKYAKUDOU

FOR ADULT ONLY




こんにちは。ボク、モモメノ。ルシェの鬱姫。
ボクは各地を転々としながら魔法と竜の研究をしているんだ。
そんな冒険の物語をキミに少しだけ公開するよ。
ひとつはギルドに加入する話。みんなの役に立てられるよう
がんばってみたよ。もうひとつはドラゴンとの意思疎通の話。
敵対するドラゴンと仲良くできたら世界も平和になるかもね。
それじゃ・・・ボクの話・・・聞いてくれるかな？

YES←

NO






今ではもうだいたい昔の話になるのですが
ボクには一時期ひとりでハントマンを
やっていた時期がありました

これはその最後の日の話です

カザン南東の森で
無謀にもひとりで冒険に出て
フロワロの瘴気にあてられ
行き倒れていたボクは
通りがかったパーティーに
保護される事になりました

日も落ちきって
その日のうちにカザンに帰るのは
不可能と考えた彼らは
夜が明けるまで野営をして
一夜をやり過ごそうと提案してきました

疲れきっていたボクは
深く考える気力もなく
この人たちの言う事を聞いて
一夜を供にすることになって



そんな夜の出来事でした

寝つきかけたボクの側で
話し声と物音が聞こえ

ボクは何だろうと思い
疲れた頭を揺り起こして
状況を理解しようとした

あ、起きちゃった。

朦朧とした意識の中で
どうにか目を開けようと
していたところ…

や……っ

……



後になって知った話ですが
どうやらこの人たちは
元々カザンでボクの話聞いて
ここまで探しに来たようで



はじめから目当ては
ボクだったらしいです



話を要約すると
「助けた例を体で払え」
という事で

今思えば
かなりわかりやすい
人たちだったと思います



ボクはおとなしく
この人たちに従いました

嫌悪感は感じたものの
前日フロワロの香りを吸い過ぎて
理性があまり働かない事で
抵抗する意思が希薄になっていた
のかもしれないけど

それ以上に何故だか
この人達の提案が魅力的に
聞こえたのもあり

男たちは妙に素直に言う事を聞いたボクの態度に少し驚いていた様子でしたが

事に及びはじめるとすぐに気にならなくなったのかそのまま好きにボクを使いはじめました

そうそう唇で締めながらゆっくり吸いあげてー

舌ざらざらしてすげー…

ルシエの女の子って皆そんななんだっけ

それから一気に喉の奥まで飲み込んでね

っ、やべ

もう出…っ

つかお前早漏過ぎだろ…そんなに良かったワケ？

あーたまんね…

モモちゃんどう？はじめてチンポおしゃぶりして美味しかった？

流石に下手くそだけど一生懸命な感じはすごいねーお姫さま

何か健気な感じ？

はじめて飲んだ精液はむせ返るような男のにおいが口の中いっぱい広がって頭の芯がぞわっとしました



はい次こっちなね

モモちゃん口の中
あったけー

興奮して体温
上がっちゃってるのかな

一回ずつ口に出されたあたりで
おちんぼと精液のにおいで
頭がじんじんしてきて



この子何か
スイッチ入っちゃってない?

もうチンポしゃぶるのに
夢中って感じで...



う、おっ
お姫さま手まで
使ってくるっ

すげ、っ...
精液吸い出される...



気付いた時には
口の中がいっぱいになるまで
精液を搾り取っていました



精液まみれになった顔で
熱にうかされたように呆けていたら
目に見えてこの人たちの
ボクを見る目が変わりました

…フェラだけで我慢して
おくつもりだったんだけど



ちょっと限界
ごめん



おちんぼをしゃぶる事で
精一杯だったボクは
危機感が薄れていたのか



今から犯すわ

ごめんね
モモちゃん

ここにきてようやく
事の重大さに
気付いたけれども
その時にはボクにはもう
どうにもできませんでした

精液まみれになったボクを見て
口だけでは満足できなくなったのか
非力なボクは成す術なく
男たちに組み敷かれました

すぐ挿れちゃっても
大丈夫と思う？

さっきまでの乱れ具合だと
もうだいぶ出来上がってるだろ

だ、めっ…

さっきまであんなに
エロかったのに
今更怖気づいた？

どうにか残りの理性を働かせて
抵抗しようとしても
一度昂ぶった性感で脱力した体では
まるで意味が無く

おまんこされるの
はじめてだろうし
仕方ないんじゃない？

ゆめっ…

カ入れてもムダだと思うよ

モモちゃんのおまんこ
もうぐしょ濡れだし
すんなり入っちゃうって

そういう無駄な抵抗も
かわいいけど

やだああっ

呆気なくボクは
純潔を奪われました

何にしてももう収まりつかないし
たっぷり犯させてもらうけどね

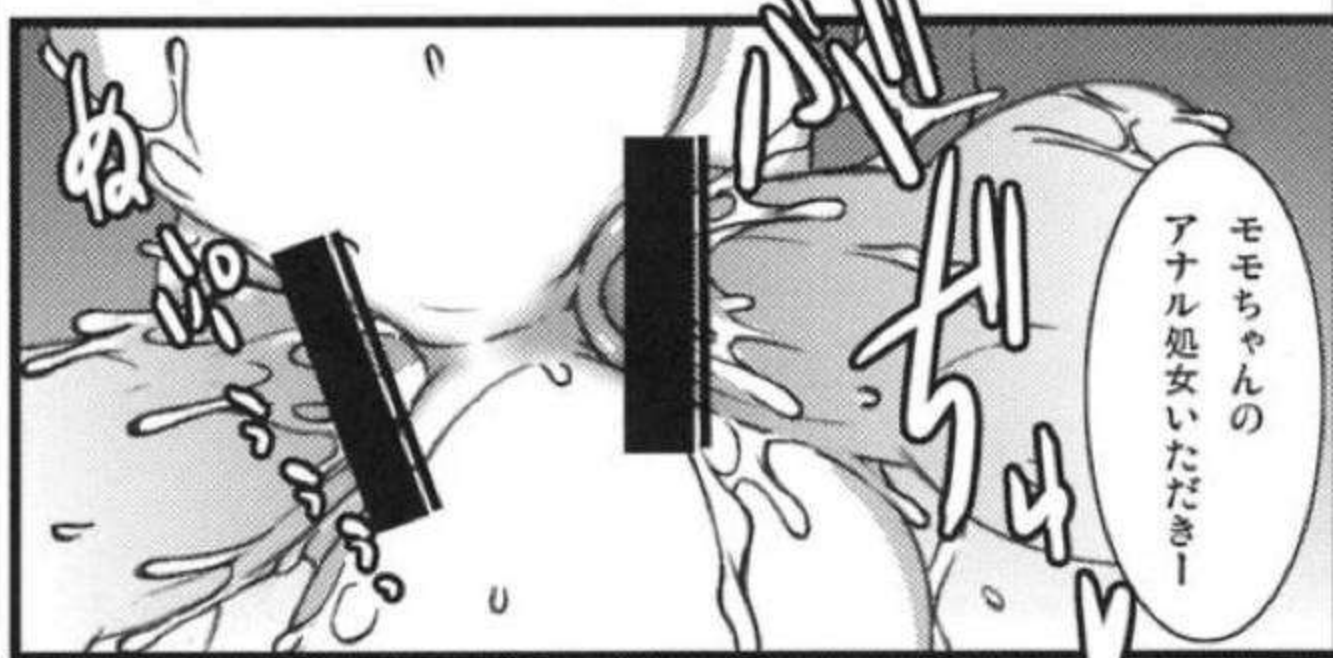
お、入った



しかし…
やっぱりルシエの
女の子はいいよね



さすが新品まんこ
すげーキツイ、っ



モモちゃんの
アナル処女いただきー



こうなっちゃうと
もう犬か猫みたいな
盛り方でかわいいなあ

フワフワの残り香で
朦朧となった頭は
純潔を失った痛みを
和らげる代わりに
お尻とおまんこから伝わる
快感を全身に染み渡らせました

それよりもお姫さま
はじめてなのに
もう感じちゃってない？

表情思いつきり
蕩けてて
すげー気持ちよさそう

早熟なルシエの体は
逞しい男のおちんぼをすんなり受け入れ
自分でも驚くくらい健気に
男に媚びを売るように体が蠢いて

悦んでるみたいだし
もっと本気で責めても
大丈夫だねこの子

腰すごい浮いちゃってさし
よがり過ぎだろ、これ……

つかやっばり
お姫様っていつでも

うわ、モモちゃん
すごいスケベ顔

お尻とおまんこの事しか
考えられな……

おまんこほじられたら
ただの女の子
だよなあ

おちんぼを突き立てられる度に
気持ちよさで理性が削られて

出る……

おまんこの絞め付けも
すげー……

モモちゃんって
ちんぼ狂いの才能
あるかも



中に同時に出された瞬間
頭が真っ白になって

ボクの体は決定的に
「牝」のそれに
変わってしまいました

モモちゃん腫出しされて
イッてるよ…

すげ…っ
しぼり取られるー

それから更にボクのお尻とおまんこをおちんぼで執拗に開発してきました

はじめてイカされたボクを見て満足するどころか一層嗜虐心に火がついたらしく



若いルシエの体は
素直に交尾の快感を受け入れて

三巡くらい犯されたあたりで
ボクの体はすっかり
おちんぼの味に屈服させられました

それからはボクも夢中で
自分から腰を振りたくって
快感を貪って

しかしこの子
本当かわいいなあ
もっとハメ倒して
色々教えてあげてー

あ、こっちももう少し
遊ばせてもらおうわ
お姫さまんこたまんね……

夜が明ける頃には
盛りのついた牝のルシエまんこに
おちんぼの味を教え込まれてしまいました

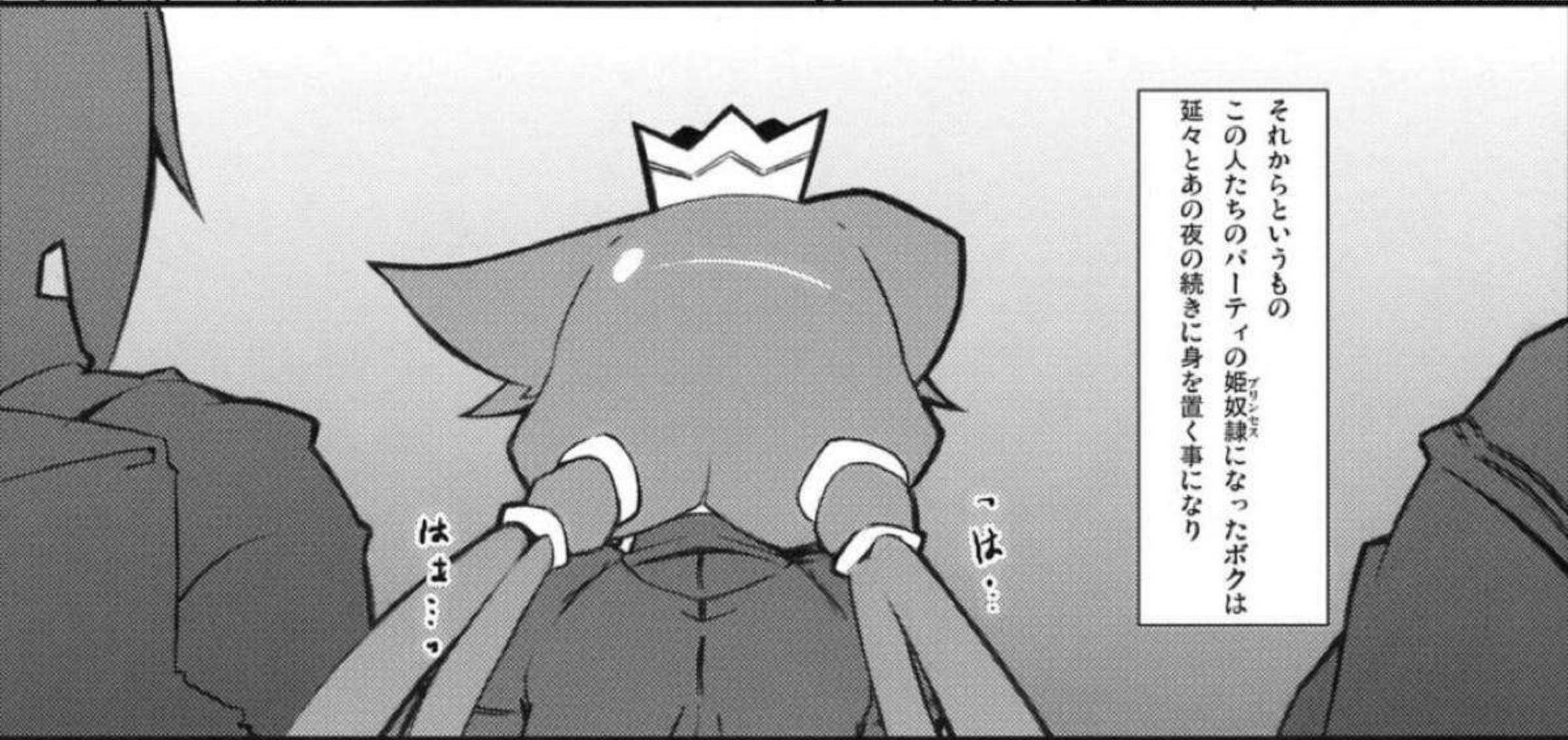
それじゃあモモちゃん
持って帰っちゃおう？



その後カザンに連れ帰られたボクは
間を置かずにこの人たちのギルドに
加入する手続きをすることになりました



それからというもの
この人たちのパーティの姫奴隷プリンセスになったボクは
延々とあの夜の続きに身を置く事になり



はま……

は……

それでもボクは今もまだ
あの時の森で染み付いた
フロワロと精液のかおりが
忘れられません

朝も晩もかわるがわる男の人に
抱かれる毎日を送っています
もうカザンから出ることも
少なくなりました



は

は

ぬ

ぬ

は

は

は

は

カザン北東「ロラツカ山洞」

ネバンブレスのルシェの姫モモメノは
世界を救うため、ドラゴンが産まれ出る
魔性の花「フロワロ」を狩りに
乗り込んだが……

そこにいたのはドラゴンの
上位的存在、「真竜」であった。

モモメノは鞭で応戦するも

真竜はその攻撃をものともせず
雄たけびを上げモモメノに
襲い掛かった。

ト
オ
オ
オ
オ
オ



真竜の鋭い爪が
眼前で振り下ろされる。

モメノの衣服が引き裂かれる。
毛も生えない未発達な下半身が
あらわになった。

真竜の下部から
赤黒い突起物がいきり立つ。

おるん

その物体の臭気に圧倒され
モメノは動くことが出来ない。

真竜はモメノを仰向けにさせると、
天井に向けられた普段排尿にしか
使われたことの無い
モメノの秘部に押し当てた。

モメノは何をされるのか
解からず、ただ震えながら
その赤黒い突起物を
見つめていた。

「メリメリメリッ！」

モメメノの未発達なおま〇こに
真竜は無理矢理ねじ込む。

トギイジ

モメメノの子宮は押しつぶされ
腹部がドラゴンの生殖器で膨らむ。
モメメノはたまらず嗚咽を漏らした。

メリメリ

はっぐら…
くっ苦しんだよち…

ポツポクの…
ナカにい…
無理矢理入って…

まだ幼いモメメノのおまんこは
真竜のおぞましい生殖器によって
穢されていく。

真竜はカリの部分で
モモメノの膣内の上部を掻く。

やがてモモメノは真竜の生殖器の挿入で
蛙のようなおなかになってるのに気づく。

この悪夢のような行為から必死に
のがれようとするモモメノ。
だが……

ああ……ボクの……
ボクのおなかがあ……

はあっはあっこんなに……
こんなになっちゃってる……
ヤダ……やだよう……

くっ……はっ……
はびっ……はびっ……

ら……らめえ……

はぐう

肉体的に幼いモモメノだが
真竜がそこを刺激するたび
メスとして開発されていく。

カクカク

モメノの必死な抵抗も
ドラゴンの太い亀頭がひっかかり
抜けない。

はひっ……♥
はひっ……抜けなひ……♥

抜けなひよお……♥

逆に逃げようとすればするほど
真竜の勃起した生殖器を抜く結果となり
その快楽から更に真竜はモメノの
オマンコへの奥へ奥へと進入してくる。

容赦なく突き入れ、

むぎっ……♥

引き抜き……

あおおお……♥

そしてまた突き入れられる。

んほおおっ……!

その行為はだんだん速度を増し

モメノの膣内で
膨張し、やがて……

射精へっ！

ドラゴンの巨大な睾丸から放たれた
大量の精液は膣内を逆流し、
まるで噴水のようにモメノの
肉穴からあふれ出した。

モメノは強烈な快楽に苛まれ
穴という穴から汁を噴出し、
不気味なほど赤く咲くフロワロの
上で気を失った。

グオオオオツ

ひぐう

おおお……

はひっ

あひっ

それから数日後……

あはぁおいしい♡
もう射精そうだね♡

いっぱいいっぱい
射精していいよ♡
くさい精液たーくさんだしてね♡

モメメノは下半身を開き、メスの
フェロモンを発しながら真竜の
生殖器をおいしそうに嘗め回し、
率先して射精をうながしていた。

「このおちんちんがボクを
とっても気持ちよくしてくれる。」
雌としての本能が、子宮がザーメンを
欲している。

真竜の鈴口をモメメノの小さな舌で
刺激すると、ドラゴンはうめきとともに
生臭い精液をモメメノの顔上にぶちまけた。

その精液が地面に落ちるたび
フロワロは次々とつぼみを
開花させていく……



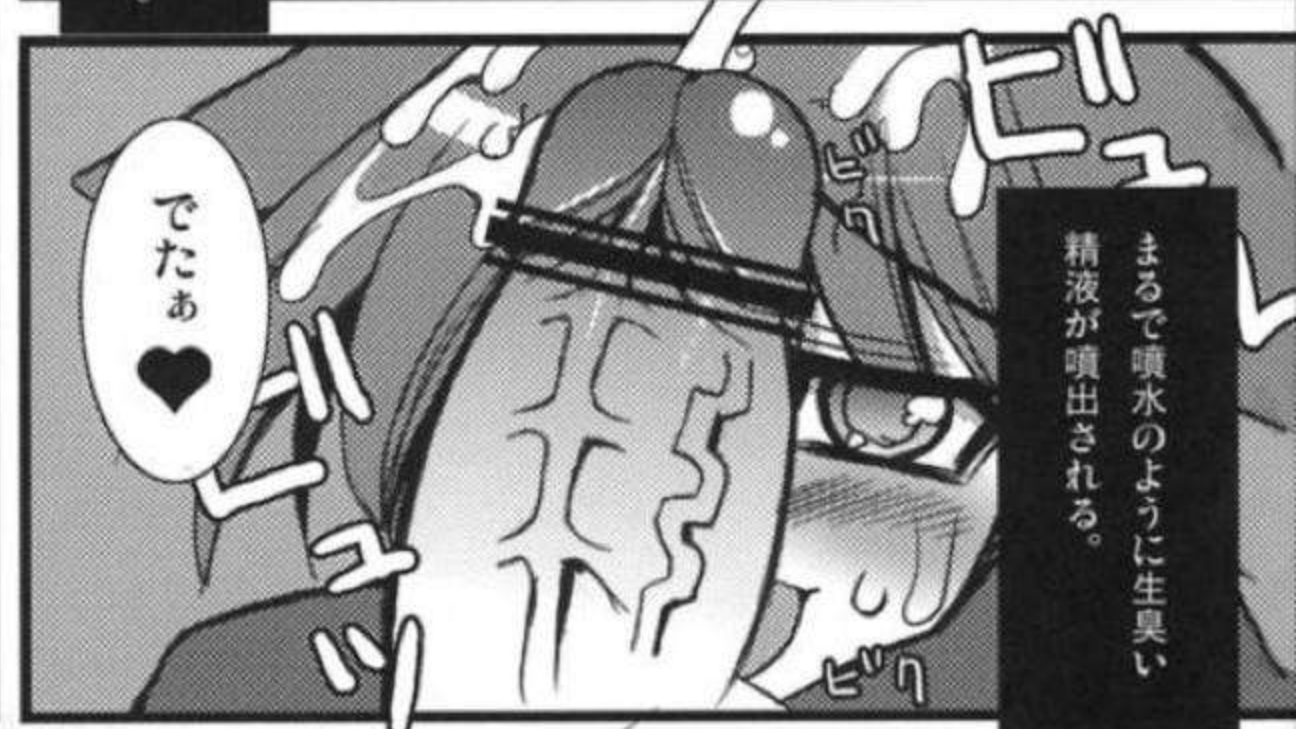
んちゅ…
おいし…

爬虫類系の独特な腐臭のする精液を
丹念に舐め取り、恍惚な表情を浮かべた。



はぁ
はぁ

モメノは尿道の中に残ってる
精液をも両手で根元からしごき上げた。



でたぁ

まるで噴水のように生臭い
精液が噴出される。



はっはぁ…

ボクのおまんこに、
こんなにもドラゴンの巨大な
おち〇ぼ入っちゃうよ…

真竜のおちんこをきれいにした
モメノはその硬く勃起した物体に
慣れたような感じで軽くまたがる。

そんなことを言いながら、まるで
激しく犯されるのを期待するかのよう
に膣の入り口で亀頭を刺激した。





ボ、ボクのおま〇この気持ち良い？
気持ちいいでしょ？子宮に向かって、
濃いのをたっぷり出して…♡♡

は、は♡
真竜のおちんちんボクのおなかの中でどんどん膨らんでくるよ♡♡

ボクのおなかにいっぱい出して僕をもっと気持ちよくさせて♡

カンを抜くモメノのヒダヒダが、腰を振るたびに、ぬちゅぬちゅとちんこにまとわりついてめくれあがる。



やがて真竜のちんこはモメノの膣内で固く膨張し、絶頂が近づく。

いいよ 思いっきり射精していいよ♡

空っぽになるまで搾りとってあげるよ♡

真竜のくっさい精液、おなかで…おなかで飲むのが一番おいしいの♡

モメノはそうやって自ら猥らに腰を激しく振る。

当初の少女だった面影も姫という威厳もない。食欲に精液をむさぼるメスがそこにはいた。

ドラゴンはたまらず
濃厚で黄ばんだ精液を
吐き出す。

ああおおっ 精子で
ボクのおなかがあ♡
どんどんふくらんでいくよおお♡

でてるうももめの
子宮にどんどん
流れ込んでくるう♡

しゅこい…♡
真竜のザーメンおちんぼ
しゅこいのお♡

ももめの膈内に何リットルもの
大量のザーメンをぶちまけられ
身も心もさして姪ごいう
自覚すら汚濁していく。

ボクの子宮が精液
ほしくておなかの中で
直接おちんちんから
バキニームしてるよお♡

真竜はモメモノから
巨根を引き抜くと

モメモノの膣から
堰を切ったかのように
大量の精子が流れ出た。

あれから数週間がたった。
今もモメモノは精液を吸って
花を咲かせる大量の
フロワロに囲まれながら
真竜とともに暮らしている。

巨根を咥え込むモメモノの
オマンコは真竜の形に拡張され、
おなかは常時膨れ上がってしまった。

あはあ

最近ではその膨れ上がった
おなかの中が動くような感じがする。

おちんちん汁でてる……♡
いっぱらっ♡
もっと……もっとちょうだい♡

精液を吸って成長するフロワロ。
そのフロワロは大量のドラゴンを
産み出すことがわかっている。

だが、真竜や帝竜が
産み出されることはない。

ではこの帝竜や真竜は……
どこから産まれてくるのだろうか……
その謎は……まだ解明されてはいない。



賀

どうも、賀です。この度はこの本を手にとりいただき感謝です。ばるるさんとの初の合同誌という事で、緊張の中での執筆でしたがどうにか形にすることができて胸を撫で下ろしている昨今です；それはそうと胸と言え、公式絵のモモさんは割とボリュームがあるように見えて不意にドキッとさせられます（キリッ）

ばるる

こんにちは！真竜パートを担当させていただきましたばるるです！賀さんとのモモメノ冒険活劇いかがだったでしょうか！ボクは帝竜や真竜はモモメノなどのルシェ種族にプロワロシードを産み付けそれを媒介に・・・など、ゲーム内で語られないドラゴンとプロワロとの関係を補完してみました。



賀

ナナドラはキャラの多いゲームということもあって、キャラ選びで目移りするかとも思っていたんですが、思いの外すんなり決まりました。何せ無口でボクっ娘ですよ！（キリッ）ゲーム自体もこれから先まだまだ遊べそうな感じなので機会があれば他のキャラもどこかで描いてみたいです。それではまた！



ばるる

3年たっても無毛のモモメノ萌え！いまさらながらモモメノは「みんなの歌姫」的なことも入れられればよかったなあとおもったんですが、そこを忘れさせるのはやはりスキル使わず打撃ばかり使っているせいなのかも？！続編楽しみにしています。また3年後に！



GAMIRAIZU&KIKYAKUDOU
POSTSCRIPT

発効日 2009年8月16日

発行 GAMIRAIZU&KIKYAKUDOU

印刷 PICO

Information

GAMIRAIZUさんのサイトはこちら。

主に男性向けぼっちゃりサイトです。

<http://www.pixiv.net/member.php?id=7129>

KIKYAKUDOUのサイトはこちら。

主に男性向けまにゅーサイトです。

<http://opaidaisuki.muvc.net/>

乱丁・不具合等でのお問い合わせはこちら。

karateka@king.interq.or.jp

■18歳未満の購入を禁止しています。

■また、この同人誌の無断転載・インターネットへのアップロードも禁止しています。





THE ANIME PRODUCTION COMMITTEE PRESENTS

HEAVEN'S DRAGON

Presented by GAMERAZU / KIKASUDOU

FOR ADULT ONLY